

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件について

平成22年5月21日
経済産業省商務情報グループ
製品安全課製品事故対策室

消費生活用製品安全法(昭和48年法律第31号。以下「消安法」)第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故に係る公表において、製品起因か否かが特定できていない事故として公表した案件のうち別紙については、消費経済審議会製品安全部会『平成21年度第5回及び第6回製品事故判定第三者委員会』における審議の結果、原因究明調査を行ったものの製品に起因して生じた事故かどうか依然として不明であると判断したので、製品安全に資する情報提供の観点から、不明の理由を付して公表することとします。

なお、事故原因は不明であるため、今後の事故の発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととしています。

詳細は別紙のとおりです。

【参考】 消安法

(内閣総理大臣への報告等)

第35条

消費生活用製品の製造又は輸入の事業を行う者は、その製造又は輸入に係る消費生活用製品について重大製品事故が生じたことを知ったときは、当該消費生活用製品の名称及び型式、事故の内容並びに当該消費生活用製品を製造し、又は輸入した数量及び販売した数量を内閣総理大臣に報告しなければならない。

原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
1 A200700470	平成19年9月19日	平成19年9月28日	電気がま	RZ-AS18	株式会社日立ホームテック(現日立アプライアンス株式会社)	火災	火災が発生した。現場に当該製品があった。	神奈川県		調査の結果、当該製品の内部の電気部品に溶融痕が見られるものの、当該溶融痕から発火したのか、外部からの焼損により生じたものか、確認ができず、出火元及び原因の特定には至らなかった。
2 A200800031	平成20年1月30日	平成20年4月8日	電気冷蔵庫	不明	松下電器産業株式会社	火災	当該製品の背面下部付近から出火する火災が発生した。	広島県		調査の結果、当該製品付近からの出火した可能性が高いと考えられるが、本体内部の電気部品、配線等に発火の痕跡は認められず、電源コードに見られる溶融痕は、一次痕か2次痕かの特定ができず、出火元及び原因の特定には至らなかった。
3 A200800162	平成20年5月5日	平成20年5月15日	除湿機	CD-AB56T	松下エコシステムズ株式会社	火災	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。	京都府		調査の結果、当該製品は焼損が著しく、確認できた内部部品や配線等に発火の痕跡は認められなかった。しかしながら、当該製品以外に出火元となるものは見あたらず、当該製品は廃棄されていたことから入手できず、出火元かどうか原因の特定には至らなかった。
4 A200800234	平成20年5月27日	平成20年6月4日	エアコン(窓用)	CW-C16AS	松下電器産業株式会社	火災	店舗の、不在の部屋で出火する火災が発生し、火災現場に当該製品があった。	東京都		調査の結果、残存していた当該製品の電気部品や内部配線等に発火の痕跡は認められなかったが、本体上部の焼損が著しく、基板の一部や電源コードが未回収であることから、出火元及び原因の特定には至らなかった。
5 A200800595	平成20年8月12日	平成20年9月12日	電気冷蔵庫	GB2000D	静岡製機株式会社	火災	当該製品を設置している納屋及び棟続きの建物が全焼する火災が発生した。	滋賀県		調査の結果、回収された当該製品の電気部品に発火の痕跡は認められなかったが、家屋等の焼損は著しく、当該製品の主要な電気部品が焼失していることから、出火元及び原因の特定には至らなかった。
6 A200800605	平成20年8月20日	平成20年9月12日	電気冷蔵庫	不明	株式会社ニッソー冷熱製作所	火災	当該製品付近から出火したと思われる火災が発生し、事務所の建物が全焼した。	東京都		当該製品のコンプレッサーの端子部が過熱したことにより出火に至ったものと考えられるとの情報があるが確認できず、事故品及び事故同等品を調査することができなかったことから、接触部過熱の要因は特定できなかった。
7 A200801223	平成21年1月2日	平成21年2月6日	エアコン	MSH-2210RT	三菱電機株式会社	火災	展示施設で火災が発生し、現場に当該製品があった。	静岡県		調査の結果、当該製品は焼損が著しく、残存部品が少ない状況であり、また、屋内配線及び電源コードの配線状況が不明のため、出火元及び原因の特定には至らなかった。
8 A200801338	平成21年2月28日	平成21年3月11日	電気冷蔵庫	MR-D90A	森田電工株式会社(輸入事業者)	火災	倉庫で火災が発生した。現場に当該製品があった。	北海道		調査の結果、当該製品の内部から発火した痕跡は認められなかった。当該製品の背面下部側の焼損が著しく、電源コードが途中で断線していたが、溶融痕は認められなかった。しかしながら、電源コードには、回収されていない部分があり、使用状態が確認できないことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。
9 A200801343	平成21年3月11日	平成21年3月12日	電気ミニマット	KWM-45T	株式会社広電	火災	当該製品の半分が焼損する火災が発生した。	北海道		調査の結果、当該製品の電気部品に発火の痕跡は認められなかったが、マット部の焼損が著しく、マット及びヒーター線の一部が焼失しており確認できないことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
10 A200900024	平成21年3月17日	平成21年4月9日	照明器具	HTC988GPL	松下電工株式会社 (現 パナソニック 電工株式会社)	火災	当該製品のカバーが落下して燃えていた。事故当時、当該製品は使用していなかった。	富山県	A200900034と同一事故	調査の結果、当該製品本体内部のスイッチボックスの焼損が著しく、本体内部に溜まった大量の埃及び虫の死骸によってトラッキング現象が起こった可能性が考えられるが、スイッチボックス内の回路の一部が未回収のため確認できず、原因の特定には至らなかった。
11 A200900069	平成21年4月13日	平成21年4月22日	電動車いす(ハンドル形)	ET4E 1型	スズキ株式会社	死亡1名	当該製品に乗って、踏切を横断中に列車にはねられ死亡した。	高知県		調査の結果、当該製品の損傷が著しく、作動状況を確認する部品も入手できなかったことから、原因の特定には至らなかった。
12 A200900156	平成21年5月16日	平成21年5月27日	電気冷蔵庫	MR-CU33NF	三菱電機株式会社 (輸入事業者)	火災	異臭がしたので確認すると、倉庫から煙が出ており、しばらくすると発火し、倉庫が全焼した。	福岡県		調査の結果、当該製品の残存していた電気部品、電源コード等に溶融痕は認められなかったが、建物の焼損は著しく、当該製品各部の焼損も著しいことから、出火元及び原因の特定には至らなかった。
13 A200900314	平成21年3月30日	平成21年7月17日	自転車	Primavera-L	サイクルヨーロッパ ジャパン株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品で坂を上っていたところ、フレームが折れて転倒し、重傷を負った。	広島県		調査の結果、フレームの下パイプに何らかの応力がかかり、き裂が生じ、その後の使用に伴い、き裂が進行して疲労破壊により下パイプが破断し、上パイプの負荷が増大して上パイプも破断したものと推定される。き裂は前輪に何らかの過大な衝撃が加わったために生じた可能性があるものの、同等品や当時の設計図面を入手できず、フレームの強度不足の有無を確認できず、原因の特定に至らなかった。
14 A200900411	平成21年7月4日	平成21年8月24日	自転車	ロココ26インチ L CL60	ブリヂストンサイクル株式会社	重傷1名	当該製品で上り坂を立ちこぎしていたところ、左クランクが折れて転倒し、重傷を負った。	東京都		調査の結果、当該製品のペダルを固定するクランクのネジ穴の周囲に亀裂が生じて破断に至ったものであり、以前から亀裂が進展していたことは確認できたが、亀裂に至るような衝撃を受けた痕跡は確認できず、原因の特定に至らなかった。 なお、クランクの材質は一般的に使用される金属材料であり、強度に問題は認められなかった。